祝うは嬉れたといる 団欒も楽し 日かた りて りし この寮に 記念祭 一世紀

歳を重ねて 恵けいてき には

日夜に励み 高邁なりし 自今は女子 探求むなり 理想など 男子らは

拓きたる野は ビルの谷に

創成川の 柳^ゃなぎ 何ぃ 処ェ

若木に伝うないとなりし

紳士道と

楡ポプラ

にも希なる

楽しみは

共に過せし に触れし 思い出を 若き日の

寮友らと語る この時ぞ

Ŧi.

千万世セ 歌わなん 尚まつく 永遠に ŋ